

2018 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [東京都立田柄高等学校] 担当教諭名 [長島 春美] (1年1~5組 7名)

交流相手国 [カナダ]

海外学校名 [Lincoln M. Alexander Secondary School] 担当教諭名 [Anura Bellana]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した実施教科・時間数	課外活動	アートマイル	30

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	平和な未来
メッセージ (相手と想いを合わせて世界に発信したいメッセージ)	相手の立場に立って考える助け合いの世界にして、環境、貧困、紛争など現在の課題を解決し、平和を実現しよう。自然と先端技術が統合され、統一された緑と調和した未来をつくろう。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
異なる意見を総合し、造形表現においても新しい可能性を開くことができた。 言語による思考、議論が造形イメージを引き出し、造形イメージが更に新しい言語思考を触発するという相互の関連が顕著に現われた。 相手校と言語活動においてもイメージのやりとりにおいても活発に交流することができた。 (同じ先生と三回目の交流だったので、早めに実際のやりとりを始めることができた。)	成員がそれぞれ他の部活動などに加入しているため、全員のスケジュールを合わせることができない。 共通言語(日本語・英語)がそれぞれ不十分な為、議論に充分参加しきれない生徒がいる。 アートマイル以外には人間関係の無い生徒の集まりであったため、途中で離れてしまう生徒もいた。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
未知であったカナダや他国への関心が高まり、世界に対して「発信する」という意識が生まれた。	特に変化はない。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	6月 ～ 11月	各自が絵も加えて自己紹介を書き、スキャンしてフォーラムに投稿する。後に、双方のメンバーの写真をフォーラム上で交換した。	自己紹介の作成に丁寧に取り組んだ。メンバーの写真は具体性があり生徒への訴求力が高い。	課外活動
共有 テーマ学習	6月 ～ 11月	夏休み中の課題で調べ学習を行なった。2学期は毎週1～2回の定例会で議論をし、カナダからの意見を取り入れながらテーマをかみ砕いていった。	夏休み中の課題は取り組んだ生徒が少なかった。定例会での議論には積極的に取り組めたが、話が右往左往する面もあった。	課外活動
融合 想いを形に ・メッセージ ・壁面デザイン	9月 ～ 12月	カナダ側と頻繁にやりとりし、メッセージの内容を煮詰めていった。キャンバスに下描きを貼りながらモチーフや構図を考えた。両国でイメージを出し合い、カナダの意向を尊重しながら集約した構図を提案した。	非常に活発な生徒にリードされながら、それぞれの思い、考え、イメージを出し合い、まとめていった。他のメンバーやカナダからの意見に唯従うだけでなく、きちんと自分の意見を出すことができた。	課外活動
創造 壁画制作	12月	キャンバスに直接描いた。	田柄の生徒の間でモチーフに関して対立する二つの考えがあり、それらを融合する技法を使うことで解決した。それによって新しい表現方法を獲得することができた。	課外活動
評価 振り返り 自己評価	3月	各自校内掲示した壁画を見てワークシートに記入した。	提出されたものは非常に熱心に書かれていた。壁画が到着した時期の関係で、鑑賞指導を直接ついでできなかったため提出者は僅かであった。	課外活動

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	何を発信するかを、情報収集し共有する中で自分だけでは気付かないことに気付けた。
異文化を理解する力	3	関心を持つことはできたが、相手国について積極的に調べたり、相手国生徒への質問を深めていくことまではできなかった。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	4	生徒の間で異なる意見があり、それをまとめる必要があった。うまく乗り切れたと思う。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	4	日本人生徒の英語は上達させる時間的余裕がなかったが、田柄の生徒間でのやりとり、カナダ側とのやりとりが主体性を持って柔軟に行なわれた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	上記のやりとりの中で客観的、論理的に的確な指摘をする場面が見られた。
主体的に考え行動する力	4	相手を受け入れると同時に自分の意見をしっかり表明する態度が見られた。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	4	「コミュニケーション力」、「主体的に考え行動する力」に重複する。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	メッセージをまとめていく段階で、様々な意見が出て、それらを関連づけまとめ上げた。そしてイメージが次々に湧き出てくる様子、またイメージから言語思考が引出されていく姿が明瞭に見て取れた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	4	提出されたものは少ないが、そこには詳細に観察し、深く感じとっている様子が見て取れる。また自分の意見や求めた形と異なってもそれを新しい価値として受け入れている姿がある。